
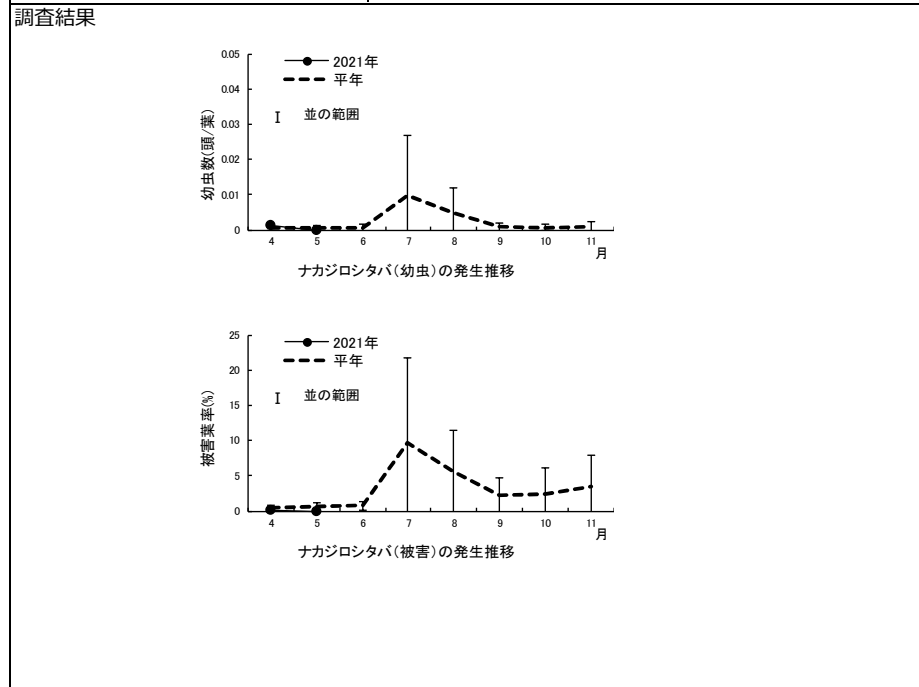



作物	カンシヨ	地域	沖縄群島
病害虫名	① ナカジロシタバ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	→	
	6月の発生量(平年比)	並	

予報の根拠	平年の発生量の推移(→)
-------	--------------

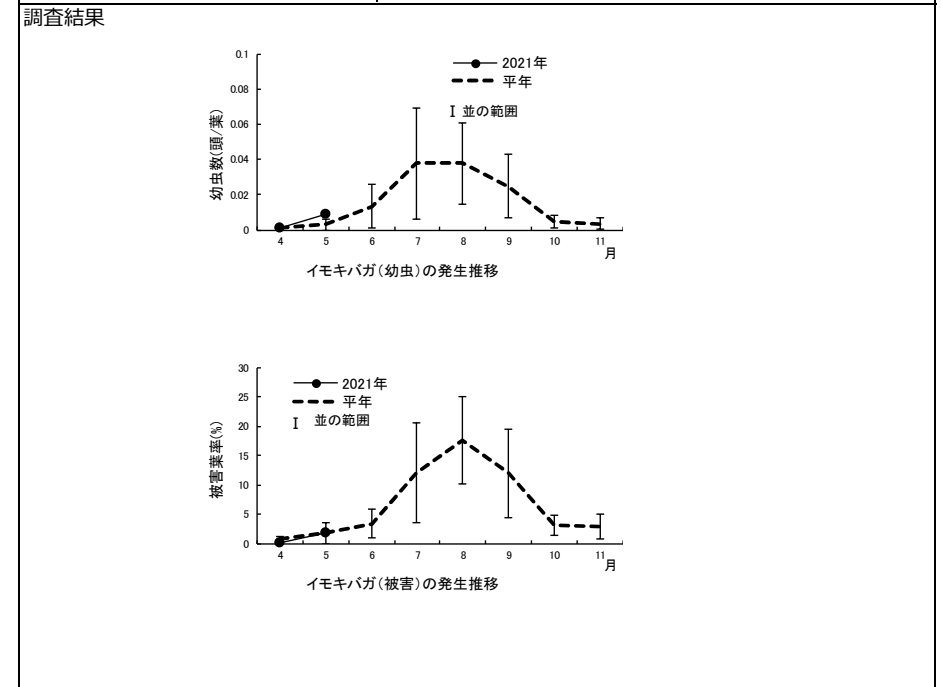


防除のポイント

- ・老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。

作物	カンシヨ	地域	沖縄群島
病害虫名	② イモキバガ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	やや多	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量(平年比)	やや多	

予報の根拠	平年の発生量の推移(↗)
-------	--------------



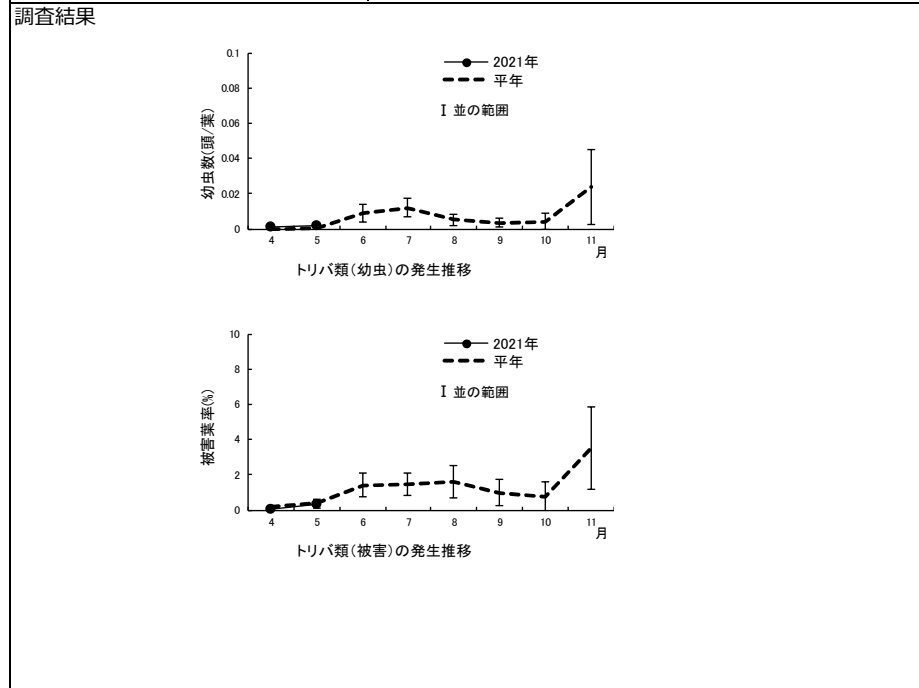
防除のポイント

- ・老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	トリバ類		
調査結果	5月の発生量(平年比)	-	
予報	5月からの増減傾向	-	
	6月の発生量(平年比)	-	



予報の根拠	
-------	--

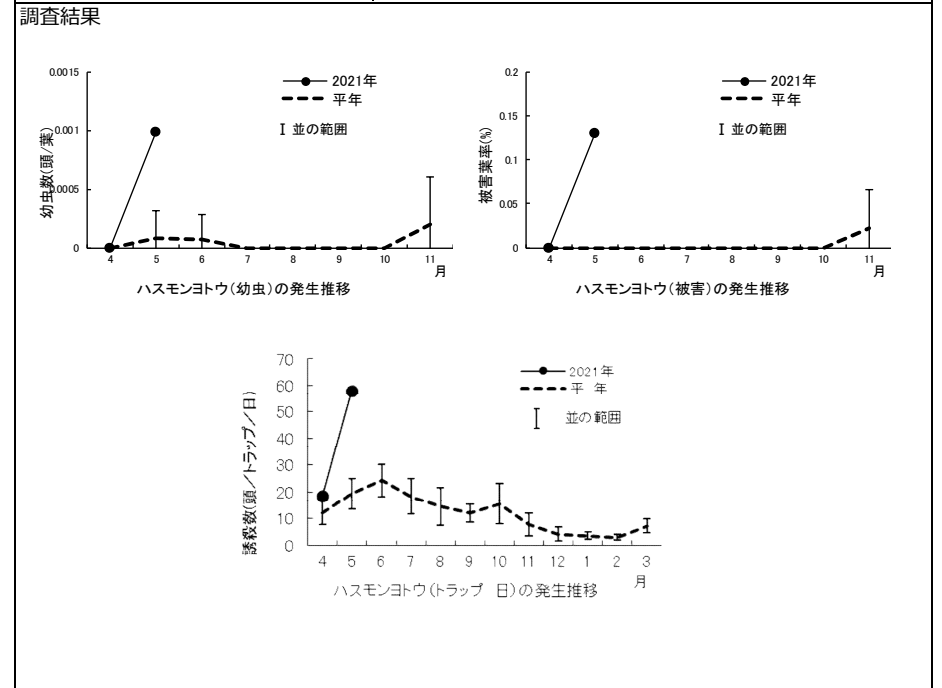


防除のポイント  
 発生初期の防除が有効であるので、被害葉が出はじめたら、薬剤散布する。

作物	カンショ	地域	沖縄群島
病害虫名	ハスモンヨトウ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	多	
予報	5月からの増減傾向	→	
	6月の発生量(平年比)	多	



予報の根拠	平年の発生量の推移(→) トラップ誘殺虫数が平年より多い
-------	---------------------------------



防除のポイント  
 ・老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。




若齢幼虫



中齢幼虫

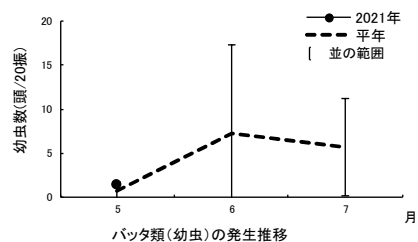


老齢幼虫

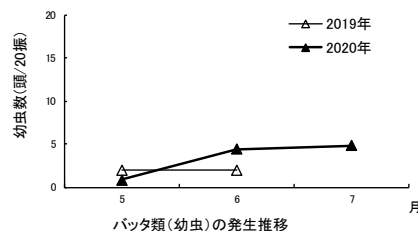
作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	バッタ類		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量(平年比)	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移(↗)		

調査結果

今期と平年の推移




過去2年の推移



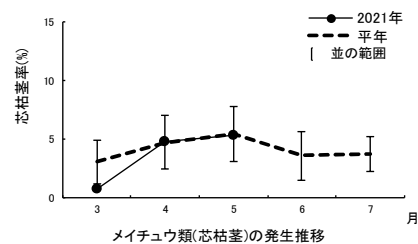
防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、6月にほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。

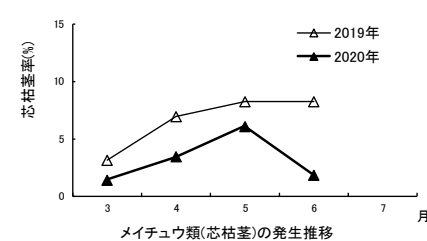
作物	さとうきび	地域	沖縄本島
病害虫名	① メイチュウ類(カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	↘	
	6月の発生量(平年比)	並	
予報の根拠	芯枯茎率の平年の発生量の推移(↘)		

調査結果

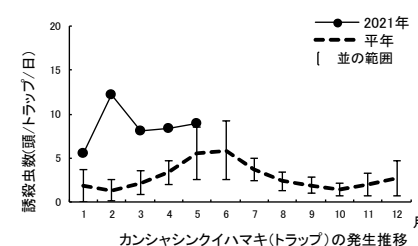
今期と平年の推移



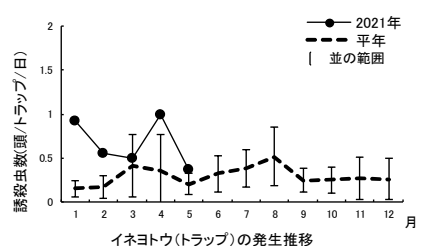
過去2年の推移



トラップ調査(カンシャシクイハマキ)



トラップ調査(イネヨトウ)

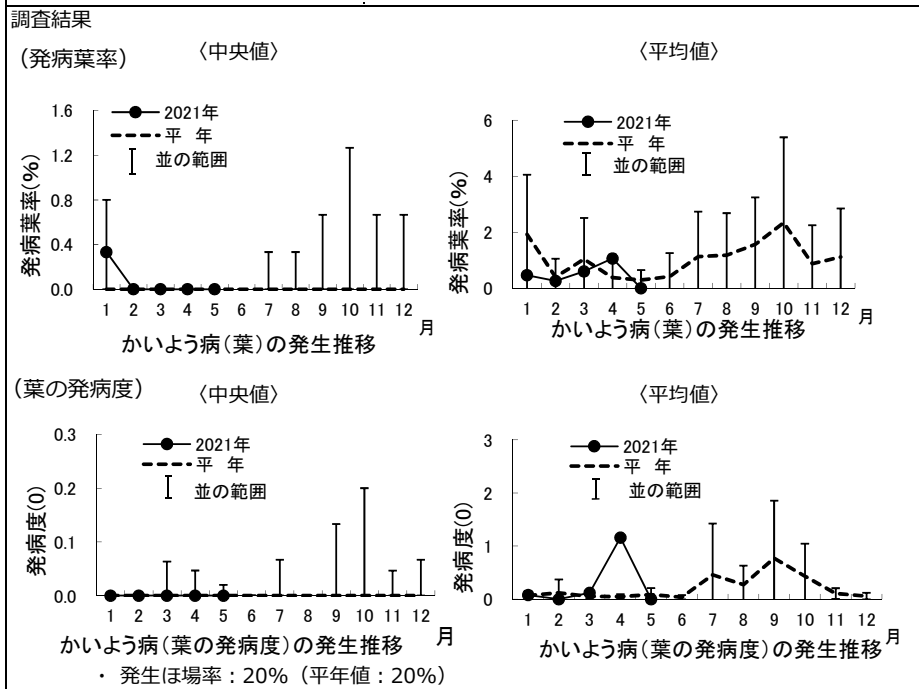


- ・茎内で発見したメイチュウ類のうち、89% (77/87頭) がカンシャシクイハマキ、11.5%(10/87頭)がイネヨトウであった。
- ・病害虫防除員の報告(メイチュウ類)：多発生(久米島町、伊是名村)

防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

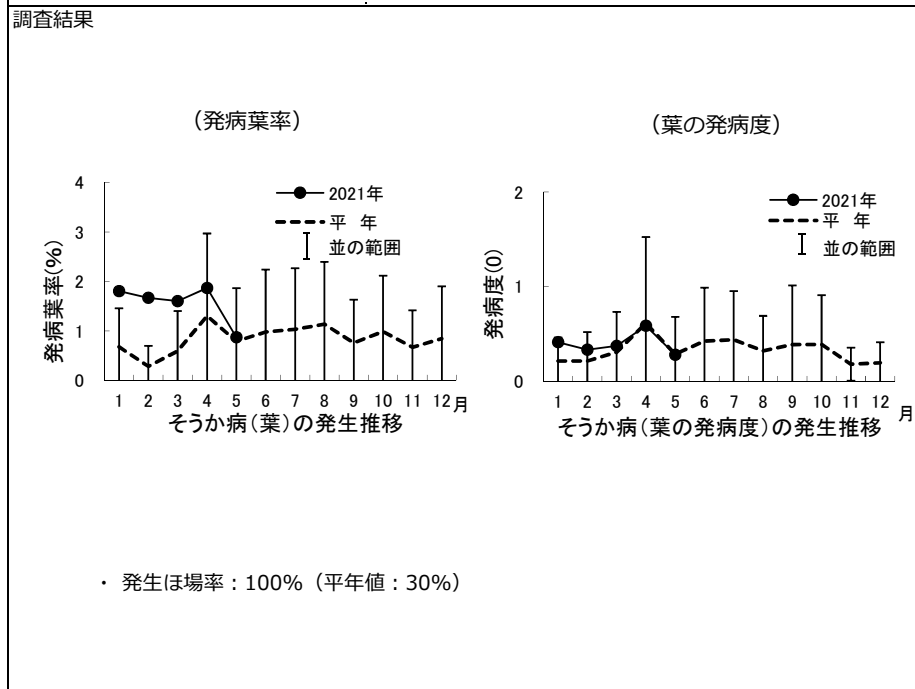
作物	かんぎつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	5月の発生量（平年比）	並	
予報	5月からの増減傾向	→	
	6月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移（→）		



防除のポイント

- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・罹病枝、罹病葉を除去し、伝染源を極力少なくする。

作物	かんぎつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
調査結果	5月の発生量（平年比）	並	
予報	5月からの増減傾向	→	
	6月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移（→）		



防除のポイント

- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

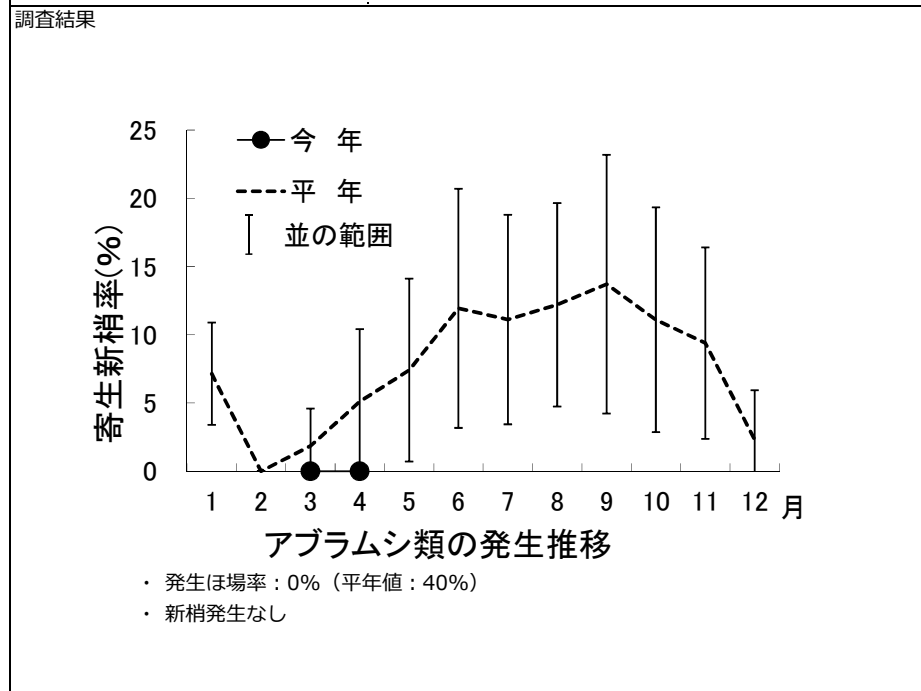
被害果→



作物	かんぎつ (温州みかん)	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	—	
予報	5 月からの増減傾向	↗	
	6 月の発生量 (平年比)	並	



予報の根拠 平年の発生量の推移 (↗)  
新梢の発生量が増加するため



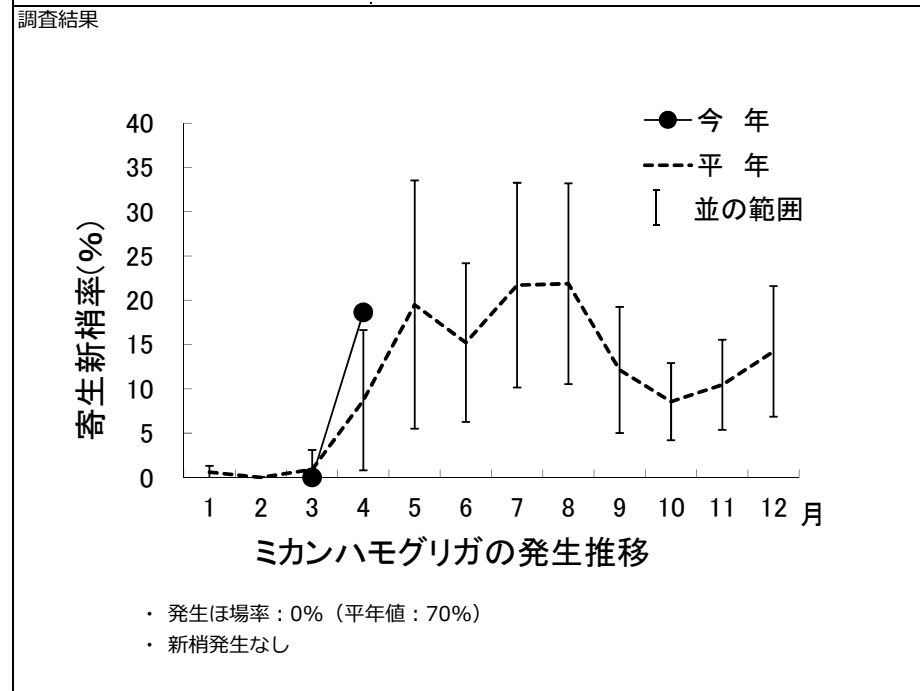
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には天敵に影響の少ない薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを採すことで、アブラムシの発見が容易になる。

作物	かんぎつ (温州みかん)	地域	沖縄群島
病害虫名	ミカンハモグリガ		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	—	
予報	5 月からの増減傾向	↘	
	6 月の発生量 (平年比)	並	



予報の根拠 平年の発生量の推移 (↘)  
新梢の発生量が増加するため



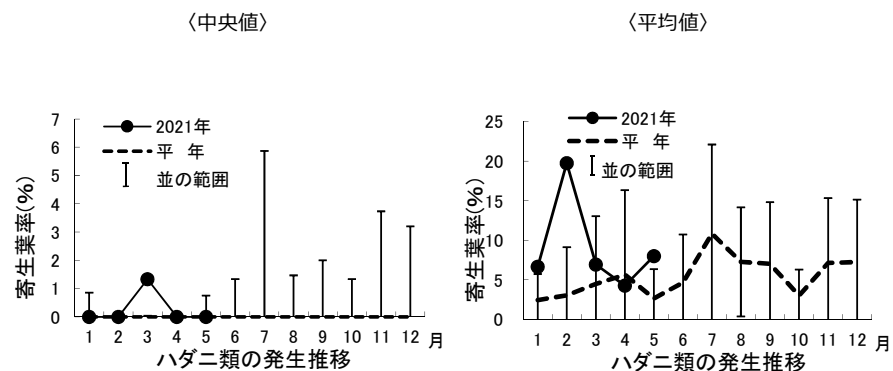
防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすいため、除去に努める。

作物	かんぎつ (温州みかん)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
調査結果	5月の発生量 (平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移 (↗)		



調査結果



防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

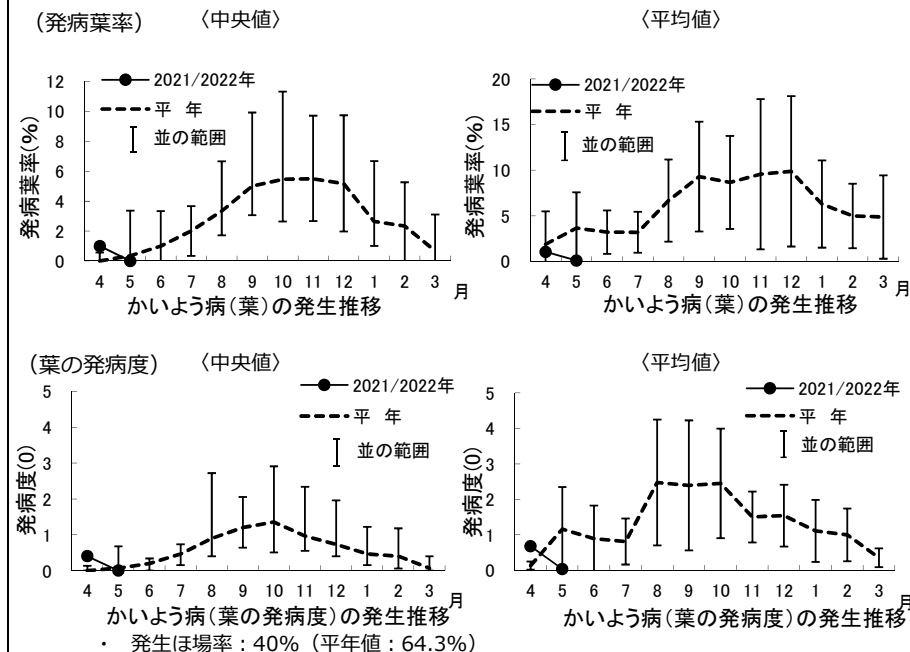


ハダニの寄生による葉のかすれ症状

作物	かんぎつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	5月の発生量 (平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	→	
	6月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠	今後1か月の降水量が平年並か少ない見込み		



調査結果




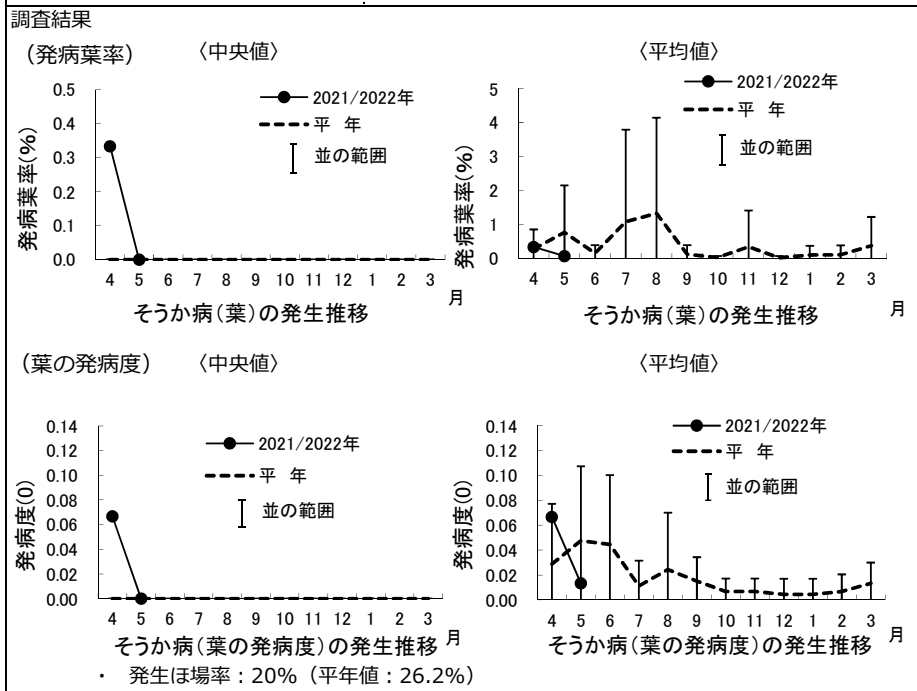
防除のポイント

・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口 (風傷) は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。  
 ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。




被害葉→

作物	かんぎつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② そうか病		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並	
予報	5 月からの増減傾向	↘	
	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠	今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み		




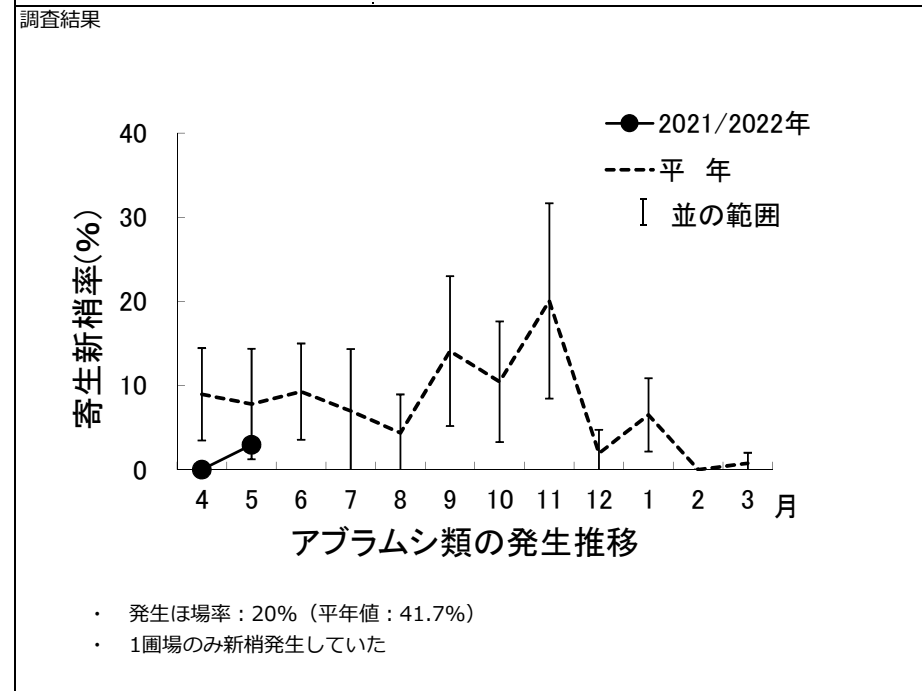
防除のポイント

- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。




被害葉→

作物	かんぎつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	—	
予報	5 月からの増減傾向	→	
	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移 (→)		



防除のポイント

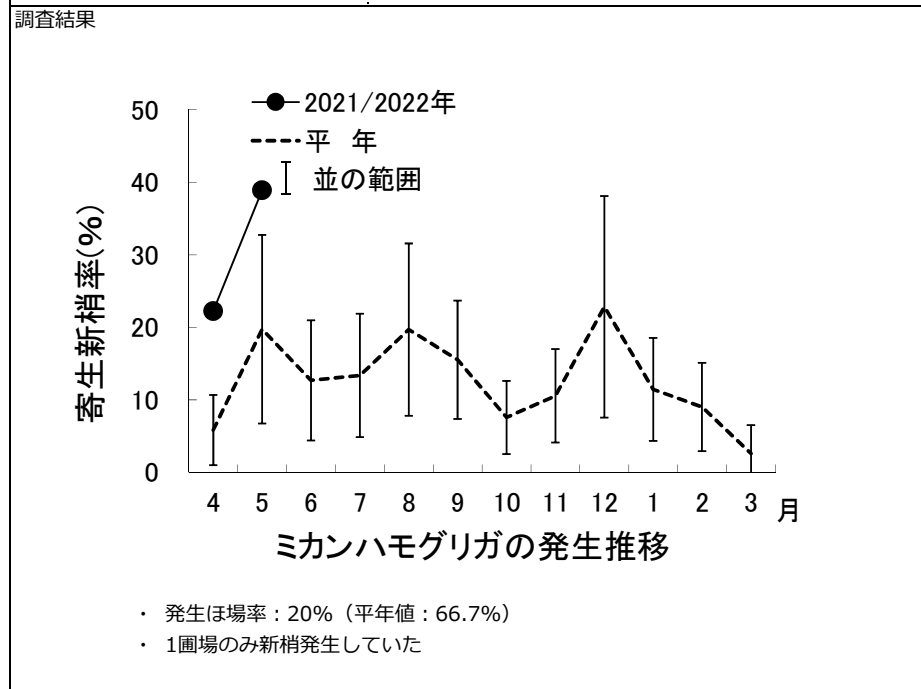
- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんぎつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	ミカンハモグリガ		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	—	
予報	5 月からの増減傾向	↘	
	6 月の発生量 (平年比)	並	



予報の根拠	平年の発生量の推移 (↘)
-------	---------------



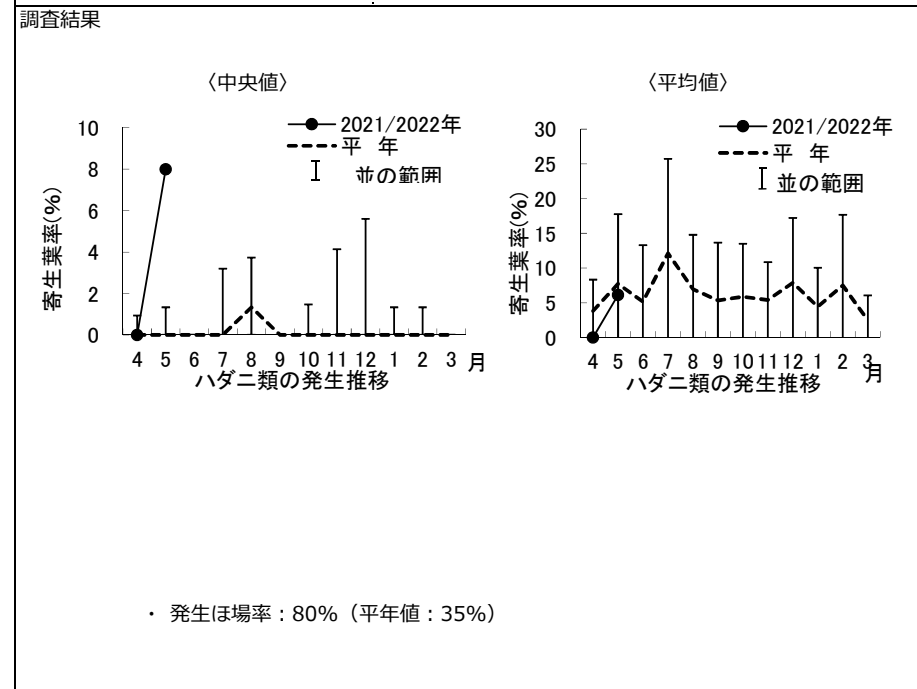
防除のポイント

- 被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんぎつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
調査結果	5 月の発生量 (平年比)	並	
予報	5 月からの増減傾向	→	
	6 月の発生量 (平年比)	並	



予報の根拠	平年の発生量の推移 (→)
-------	---------------




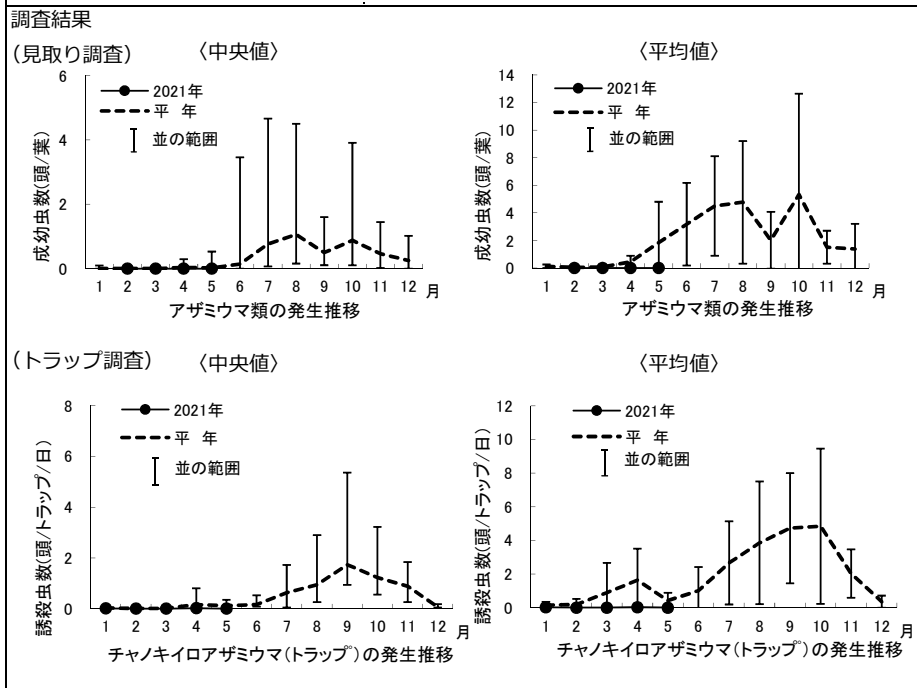
防除のポイント

- 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状




作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	(発生なし)並	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量(平年比)	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移(↗)		




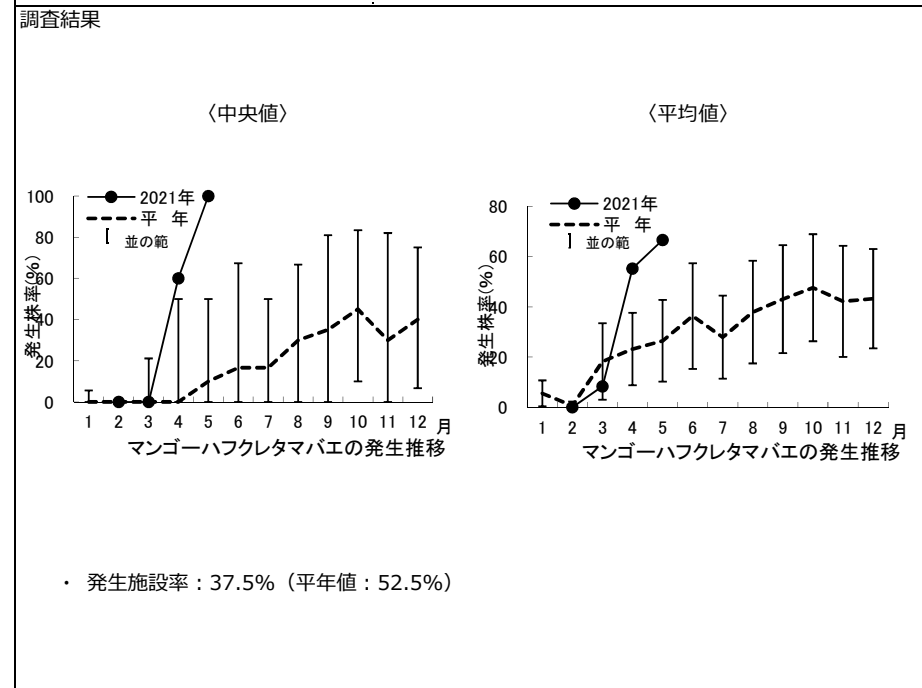
防除のポイント

- ・ 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・ 多発施設では、収穫終了後に薬剤による防除を行う。
- ・ コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。




ナガエコミカンソウ

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① マンゴーハフクレタマバエ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	多	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量(平年比)	多	
予報の根拠	平年の発生量の推移(↗)		

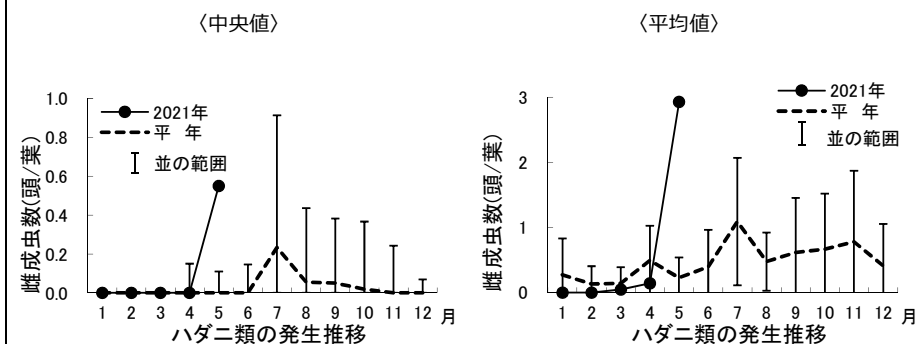


防除のポイント

- ・ 幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
- ・ 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類		 <p>シュレイツメハダニ</p>
調査結果	5月の発生量(平年比)	多	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量(平年比)	多	
予報の根拠	今後1か月の降水量が平年より並または少ない見込み		

調査結果




- ・ 発生種：シュレイツメハダニ
- ・ 発生施設率：75% (平年値：44%)

防除のポイント

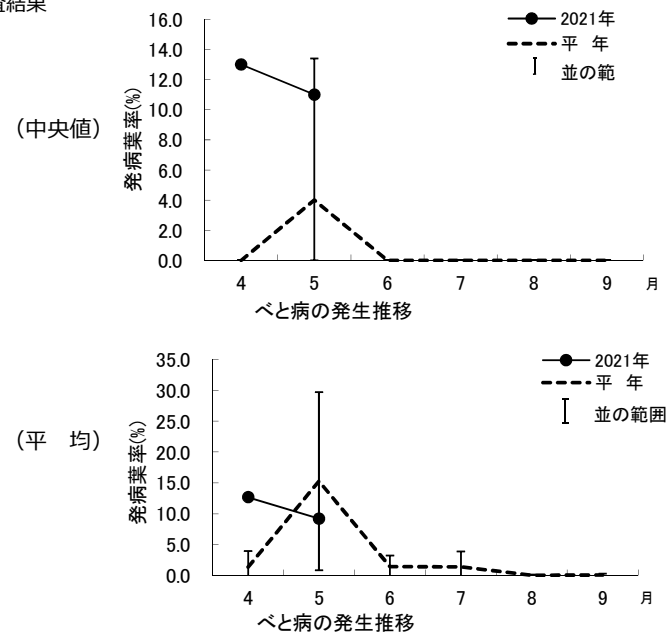
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症

作物	ヘチマ	地域	沖縄群島
病害虫名	べと病		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	↘	
	6月の発生量(平年比)	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移(↘)		

調査結果



- ・ 発病ほ場率 80.0% (平年 20.0%)

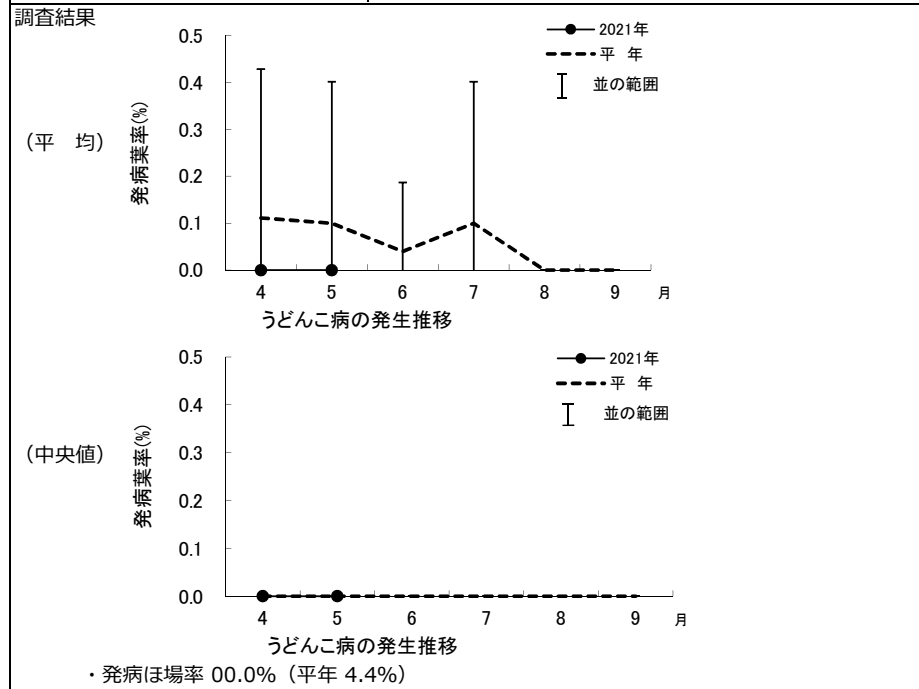
防除のポイント

- ・ 気温が10～25℃で多湿条件下で発生しやすい。
- ・ 老化した葉を除去し、採光・通風を良くする。
- ・ 適正な施肥管理を行う。



作物	ヘチマ	地域	沖縄群島
病害虫名	うどんこ病		
調査結果	5月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
予報	5月からの増減傾向	↘	
	6月の発生量（平年比）	並	

予報の根拠	平年の発生量の推移 (↘)
-------	---------------



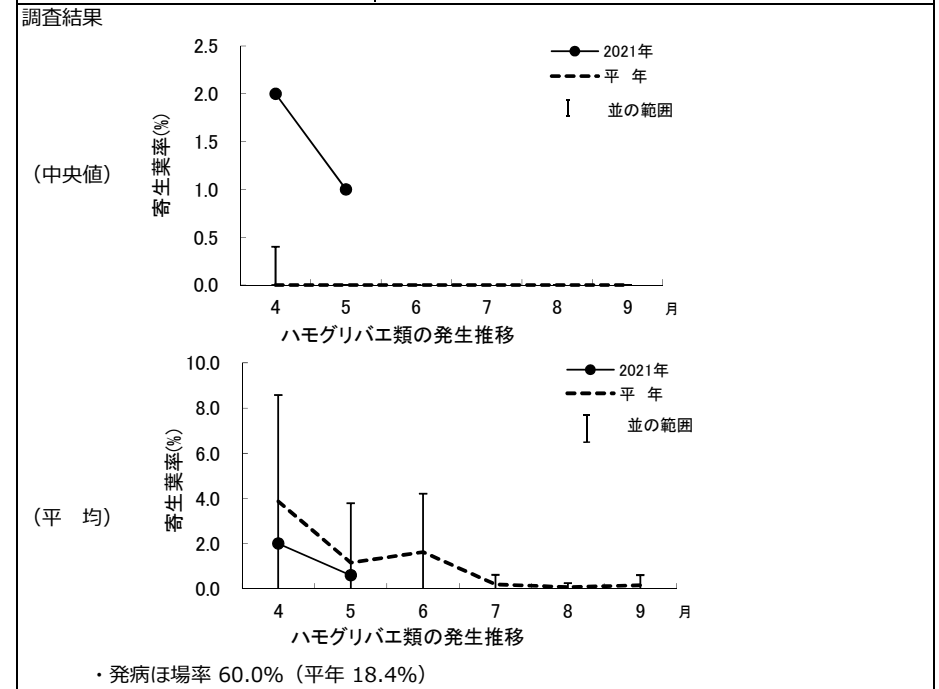
防除のポイント

- ・ 下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・ 窒素過多にならないようにする。
- ・ 草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

作物	ヘチマ	地域	沖縄群島
病害虫名	ハモグリバエ類		
調査結果	5月の発生量（平年比）	やや多	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量（平年比）	並	



予報の根拠	平年の発生量の推移 (↗)
-------	---------------



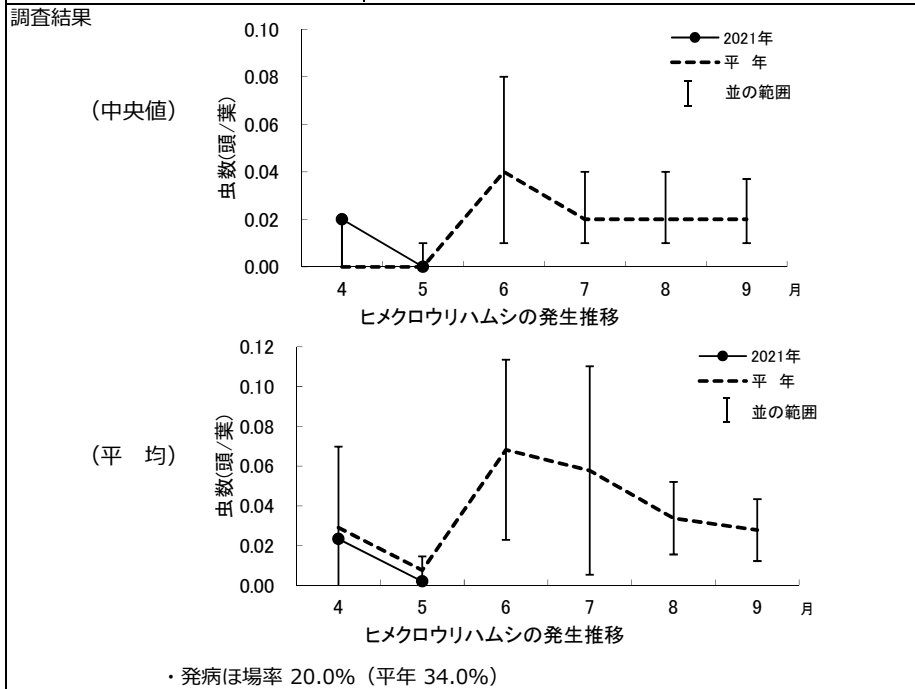
防除のポイント

- ・ 本種の寄生痕から病害が侵入する可能性があるため、発生初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場周辺の雑草は本種の発生源になるので除去する。

作物	ヘチマ	地域	沖縄群島
病害虫名	ヒメクロウリハムシ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	(発生なし)並	
予報	5月からの増減傾向	↗	
	6月の発生量(平年比)	並	



予報の根拠	平年の発生量の推移(↗)
-------	--------------



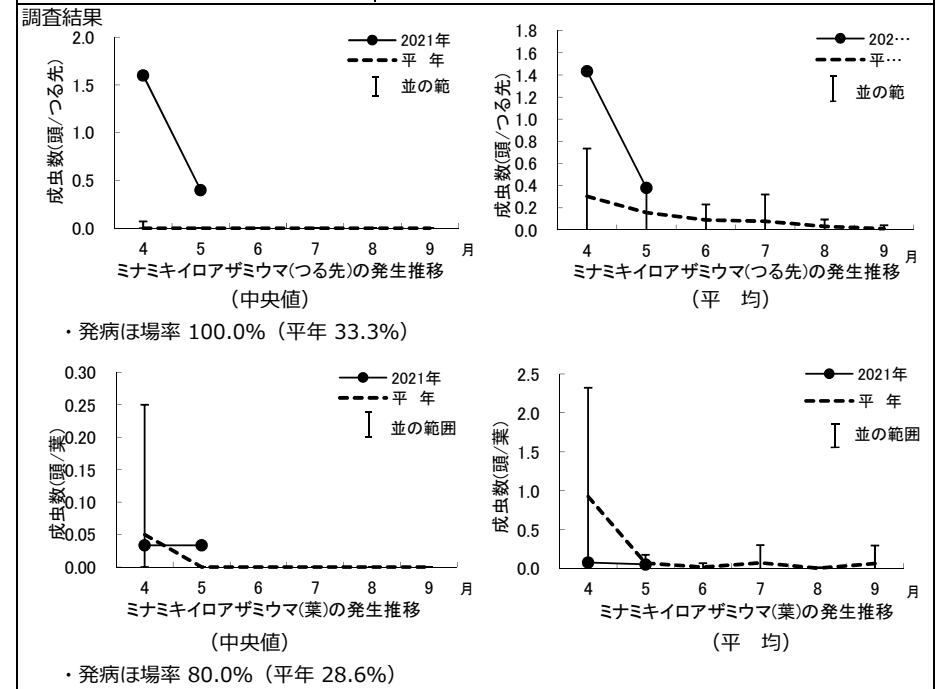
防除のポイント

- ・シルバーテープなど光反射資材を利用し、成虫の飛来防止に努める。
- ・ほ場内外のウリ科雑草は発生源になることから、根も含めて除去する。
- ・産卵防止のため、地際部をシートなどで覆う。
- ・動きの鈍い午前中に成虫を捕殺する。

作物	ヘチマ	地域	沖縄群島
病害虫名	① ミナミキイロアザミウマ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	やや多	
予報	5月からの増減傾向	↘	
	6月の発生量(平年比)	並	




予報の根拠	平年の発生量の推移(↘)
-------	--------------

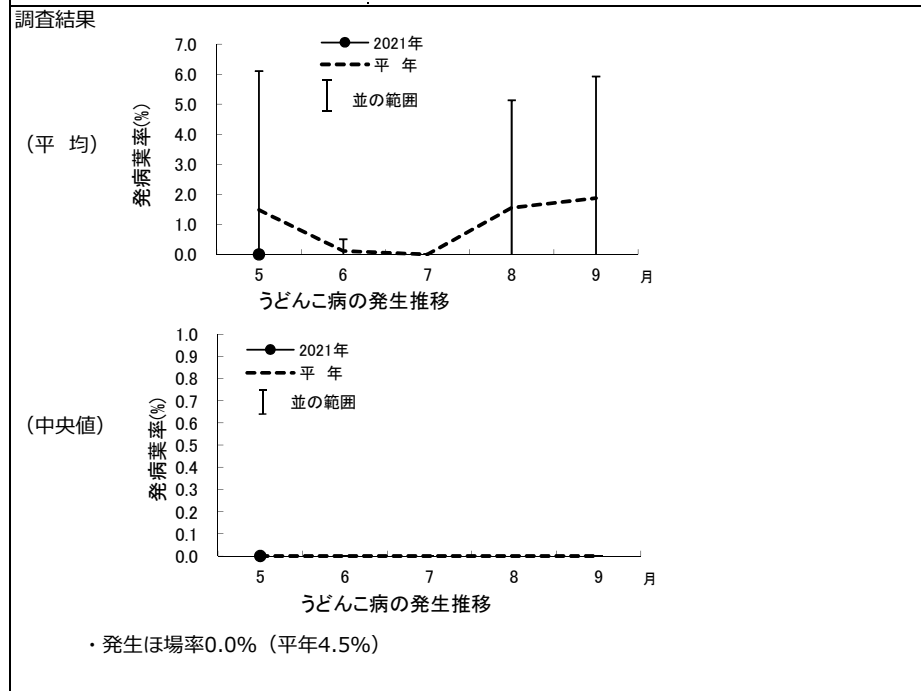


防除のポイント

- ・葉裏に多いことに留意しながら、丁寧に薬剤散布する。
- ・多くの雑草に寄生するため、ほ場内外の雑草除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。


作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	うどんこ病		
調査結果	5月の発生量(平年比)	(発生なし)並	
予報	5月からの増減傾向	↘	
		6月の発生量(平年比)	並

予報の根拠 平年の発生量の推移(↘)

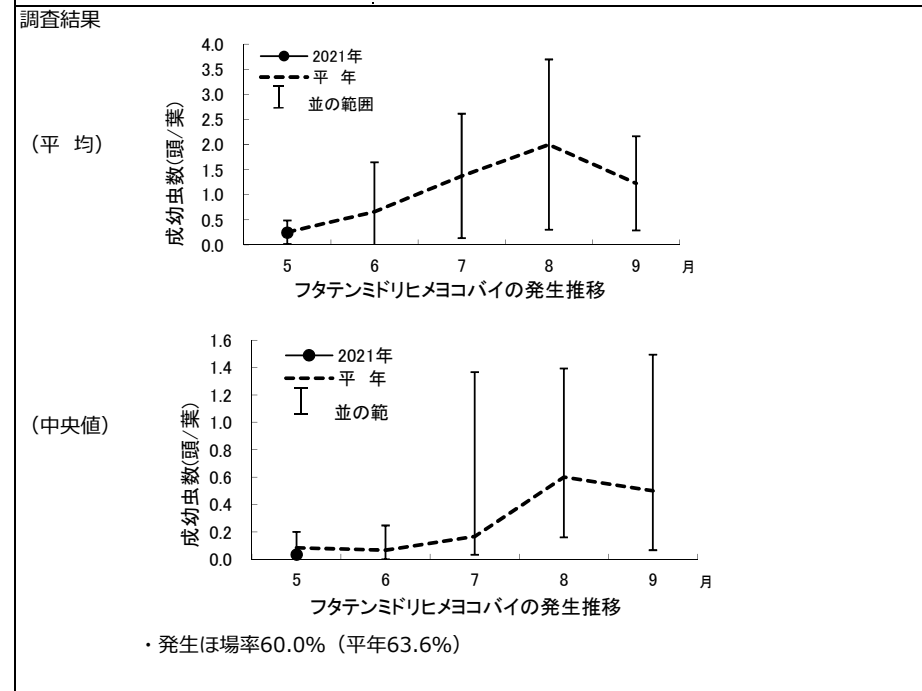


防除のポイント

- ・下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	↗	
		6月の発生量(平年比)	並

予報の根拠 平年の発生量の推移(↗)




防除のポイント

- ・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

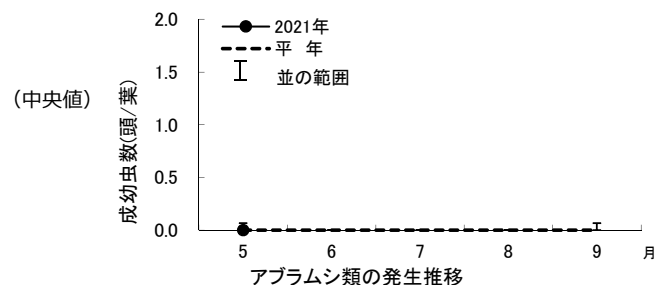
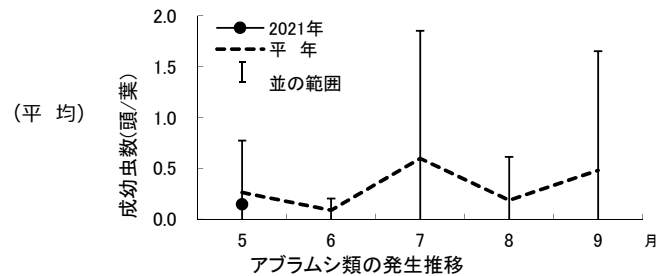




幼虫
被害葉

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	↓	
		6月の発生量(平年比)	並
予報の根拠	平年の発生量の推移(↓)		


調査結果



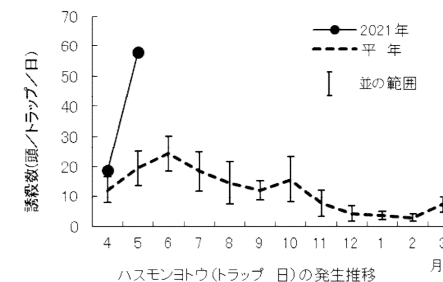
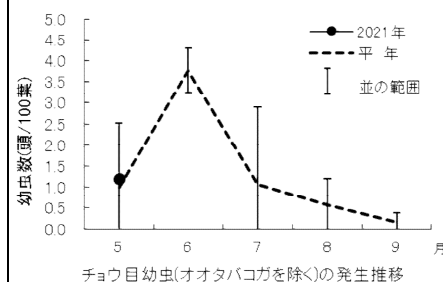
・発生ほ場率40.0% (平年38.6%)

防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	① チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	↓	
		6月の発生量(平年比)	並
予報の根拠	平年の発生量の推移(↓)		

調査結果

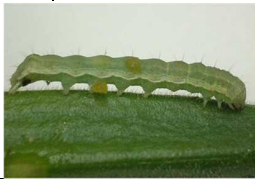


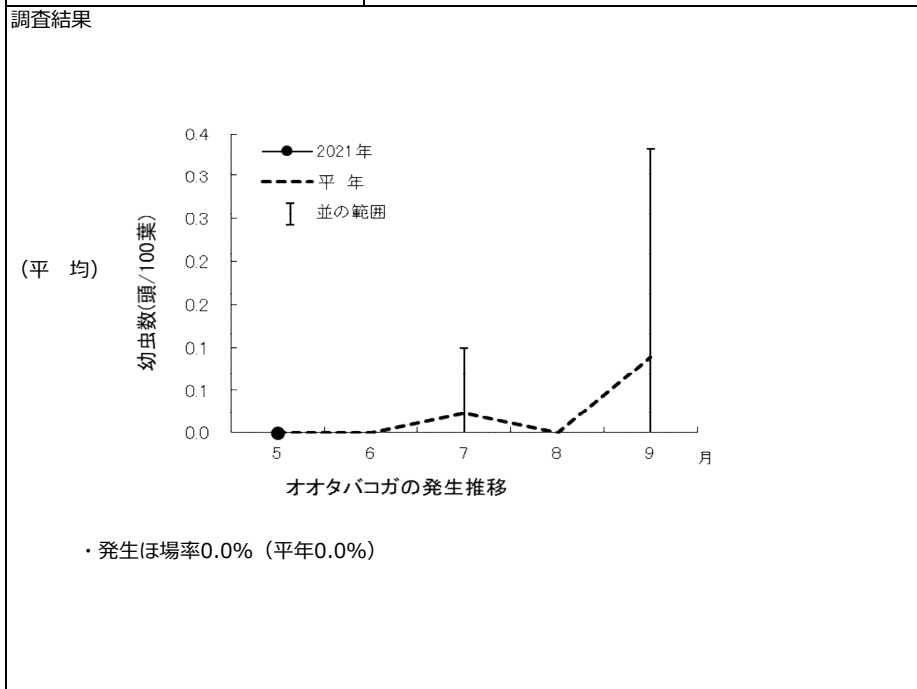
- ・発生ほ場率80.0% (平年36.4%)
- ・発生種：ハスモンヨトウ

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。





作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	オオタバコガ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	(発生なし)並	
予報	5月からの増減傾向	→	
	6月の発生量(平年比)	並	
予報の根拠	平年の発生量の推移(→)		

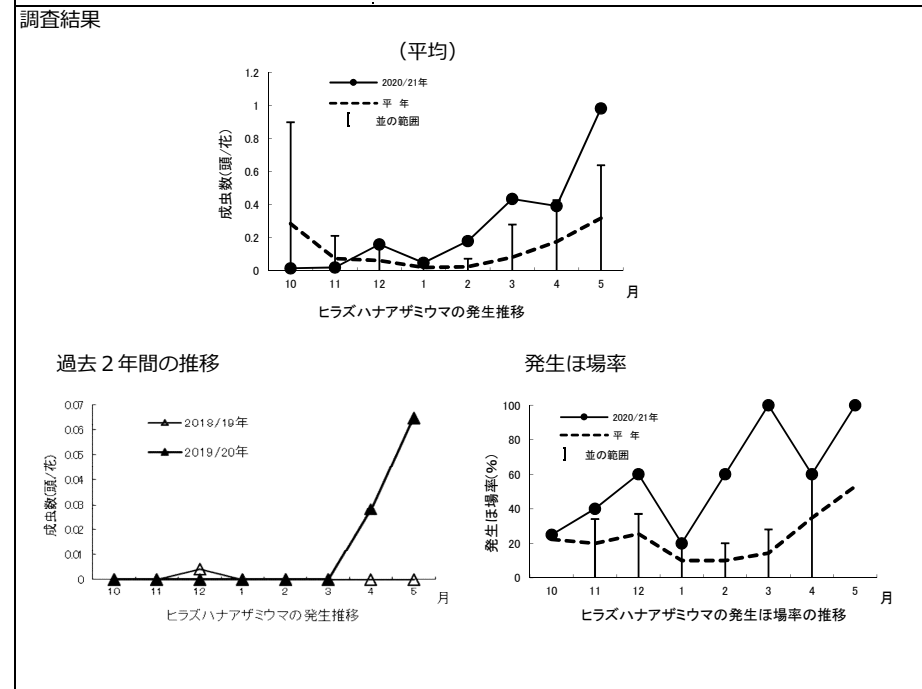


防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。
- ・被害果や摘芯、摘花した腋芽・花蕾等の残さは、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。




作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	ヒラズハナアザミウマ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	やや多	
予報	5月からの増減傾向	—	
	6月の発生量(平年比)	—	
予報の根拠			

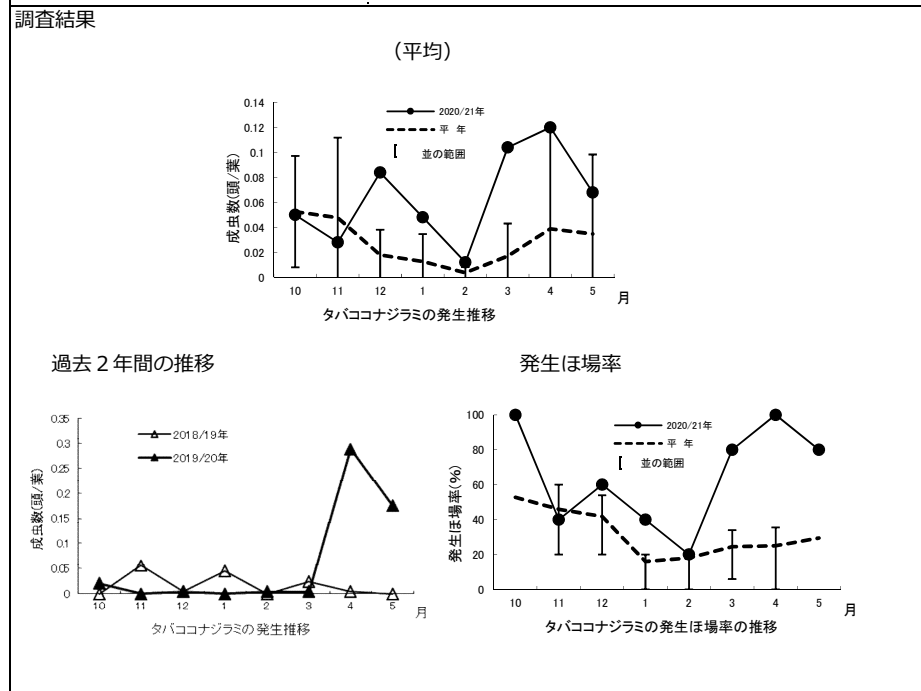


防除のポイント

- ・本種は主に花に寄生し、多発すると産卵により果実ヘタ部や果梗部が黒変する。
- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、初期防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない薬剤を選定する。


作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	タバココナジラミ		
調査結果	5月の発生量(平年比)	並	
予報	5月からの増減傾向	—	
	6月の発生量(平年比)	—	

予報の根拠



防除のポイント

- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・本種は、多発すると果実の着色異常やすす病を引き起こすため、早期発見防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。



幼虫